

みずほCustomer Desk Report 2020/09/01号(As of 2020/08/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.54	1.1917	125.74	1.3359	0.7371
SYD-NY High	106.09	1.1966	126.85	1.3396	0.7403
SYD-NY Low	105.29	1.1885	125.41	1.3302	0.7341
NY 5:00 PM	105.93	1.1937	126.35	1.3370	0.7378
NY DOW	28,430.05	▲ 223.82	日本2年債	-0.120	▲1.00bp
NASDAQ	11,775.46	79.82	日本10年債	0.040	▲1.00bp
S&P	3,500.31	▲ 7.70	米国2年債	0.132	0.00bp
日経平均	23,139.76	257.11	米国5年債	0.268	▲0.31bp
TOPIX	1,618.18	13.31	米国10年債	0.706	▲1.80bp
シカゴ日経先物	23,105.00	160.00	独10年債	-0.3990	1.10bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	0.3130	0.25bp
DAX	12,945.38	▲ 87.82	豪10年債	0.9860	▲3.30bp
ハンセン指数	25,177.05	▲ 245.01	USDJPY 1M Vol	7.45	▲0.01%
上海総合	3,395.68	▲ 8.13	USDJPY 3M Vol	8.48	▲0.12%
NY金	1,978.60	3.70	USDJPY 6M Vol	7.93	▲0.15%
WTI	42.61	▲ 0.36	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	153.21	▲ 0.23	EURJPY 3M Vol	8.30	▲0.02%
ドルインデックス	92.14	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	8.18	0.00%

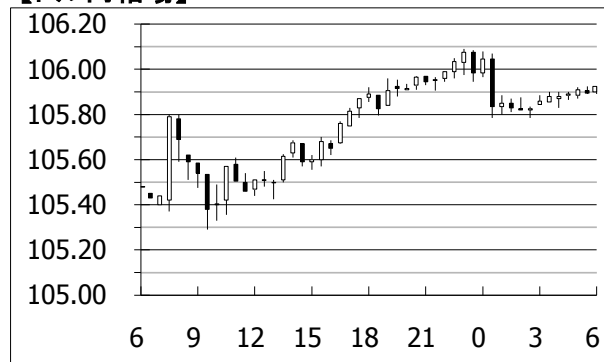
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月 8.0%/-16.1%	5.0%/-17.5%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	8月 51.0/55.2	51.2/54.2
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 -0.1%/0.0%	0.0%/0.1%
	22:00	米 クラリダFRB副議長 講演	「政策方針の明示と資産買い入れ策は効果的」	
	23:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「金融政策のガイダンス拡充には時期尚早」	

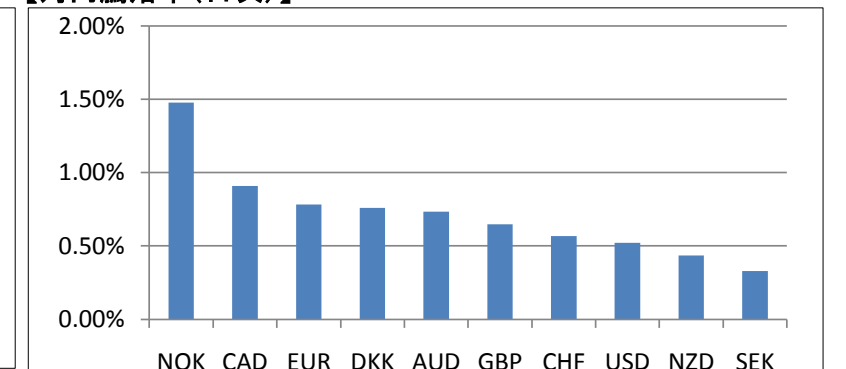
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月1日	08:30	日 失業率	7月 3.0%	2.8%
	13:30	豪 RBAキャシュレート	- 0.25%	0.25%
	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	8月 53.0	53.0
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	8月 0.2%/0.8%	0.4%/1.2%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	8月 53.6	53.6
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 54.7	54.2
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 1.0%	-0.7%
9月2日	02:00	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.1850-1.1980	125.50-126.80

【マーケット・インプレッション】

安倍首相の辞任発表に端を発した下落が一服し、昨日東京時間のドル/円はじりじり値を上げる展開。その流れのままNY時間には一時106.09円をつけるが、米長期金利の下落もあり、106円台を保つことはできず、105.93円でクローズ。
本日は米ISM製造業景況指数の発表が予定されているが、ここ最近の経済指標に対する市場の反応をみると、どのような結果を示そうと反応は薄いのではないかと。その他にも目ぼしい取引材料は見当たらず、106円前半を高値とした狭いレンジ内での値動きを予想する。

東京	東京時間のドル円は105.54レベルでオープン。月末における実需の円買いが入ったことで105.29まで下落する場面があるも、売り一巡後は105.50レベルで底堅い動きとなった。先週末の安倍首相辞任報道に対するリスクオフの服感からもドル買い優勢となり、ドル円は引けにかけてじりじりと上昇。105.68レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は105円台半ばでスタートし、月末の実需の円買いに一時105.29まで下押し。しかし、週明けに菅官房長官の自民党総裁選出馬との報道が伝わる中、安倍首相辞任後も現行の経済政策が継続するとの見方が強まったためか、次第に円売り優勢となり、105.97まで上昇し、105.95レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、海外時間の流れを引き継ぎ、106.09まで続伸。クラリダFRB副議長がオンライン講演でマイナス金利導入についてはリットが限定的であることや、イールドカーブコントロールは現時点ではFRBが導入する可能性は低いと示唆するも、特段サプライズがなかったことから市場の反応は限定的だった。その後、米金利低下や欧州通貨に対するドル売りが波及した結果、106円台を維持できず、105.80近辺まで反落。午後は新規材料が乏しく、また月末のクローズに向けて積極的な取引が手控えられ、106円手前で小動きとなり、105.93レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、ロンドン市場が休場となる中、1.1900を挟んだ狭いレンジで推移。早朝にユーロ円やユーロポンドの上昇に連れて1.1940まで上昇後、1.1938レベルでNYオープン。朝方は、独8月CPIが発表され、予想を下回るも、ユーロドルの反応は限定的だったが、月末絡みのドル売りにサポートされ、約2年3か月ぶりの高値を更新した18日高値と同じ水準である1.1966まで上昇。午後は持ち高調整のユーロ売りがやや優勢となり、1.19台半ばまで反落し、1.1937レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木・大谷

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	15